

令和6年度 石川県立輪島漆芸技術研修所運営委員会 議事録

日時：令和6年6月28日（金）

午後1時00分～

場所：奥能登行政センター

第42、43会議室

最初に事務局から委員14名のうち7名の出席、7名の委任状の提出があったので、運営委員会規則第5条第2項の規程により当委員会の開催と議決は有効であることが報告された。また、委員会の開会を宣言した。

次 第

1. 所長挨拶

2. 会長選任

会長選任について諮ったところ、山岸委員が適任との推薦があった。他の出席委員から異議は無く、運営委員会規則第4条の規程により山岸委員が会長に選任された。

また、山岸会長が議事進行することを宣言した。

3. 運営委員及び職員紹介

4. 議事

(1) 研修所現況報告及び被災状況

事務局から令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画に関して、入学式、見学研修、デザイン研究会、特別講義、オープンキャンパス、作品展、卒業式、備品購入についての報告があった。併せて、令和6年能登半島地震による研修所の被害状況や研修生・講師・職員の被災状況についての報告があった。山岸会長が審議を諮ったところ出席委員全員の賛成で可決された。

(2) 令和6年度の研修所運営

事務局から令和6年10月に授業を再開し、以降、令和9年度までのスケジュールについての報告があった。併せて、研修所運営に関して、講師の変更や指導陣営、運営目標、教育方針、教育課程、庁舎警備、災害対策、職員の事務分担、年間行事予定、年間指導計画についての報告があり、山岸会長が審議を諮ったところ出席委員全員の賛成で可決された。

(3) 優品模造制作

事務局から令和5年度の優品模造制作及び優品調査、令和6年度の優品模造制作についての報告があり、山岸会長が審議を諮ったところ出席委員全員の賛成で可決された。

(4) 運営委員の意見・要望

増村委員

- ・今回の地震を踏まえ、今後の指導方法について研修生の過ごし方を考慮しながら、いろいろ話し合いを重ねていきたいと思っています。指導に訪れる滞在日数が少なく、教える技法も時間を要するため、榛地科・髹漆科の研修生に日記を課すと共に、資料や映像を使った形での授業にさせて頂こうと思っています。

中野委員

- ・地震から半年経ちますがけれども、小森所長始め関係者の方々は大変な努力をなさって本当にありがとうございます。5月に卒業式・卒業作品展を行えたことも本当に良かったと思います。研修所がしっかりと元のように回復されることを願うだけです。

島崎委員

- ・研修所の被害状況を聞いて、本当に言葉に表せないぐらいびっくりしています。今回の地震は人の運命や今後のあり様に関して多大な影響を与えているなど感じます。一日も早く元に戻るように願うしかないと感じています。

川北委員

- ・車で会場に向かう途中、未だに倒れている建物を目の当たりにして心苦しいです。また、復興するまでに10年要するのでは、といったことも耳にします。しかし、そのような全体のことよりも、新しく研修所で学びたいと待機している方々が快適とまではいかななくても学ぶことができることを一個人として嬉しく思っています。

山岸会長

- ・断水状態にあった研修所に水が来て非常にほっとしています。漆の仕事にはどうしても水は不可欠なものですので、明るいニュースだと思います。

すべての審議が終了し運営委員会の閉会が宣言された。